

ゆうばえのみち再整備工事（その2）現地説明会でいただいたご意見について

平成 29 年 7 月 1 日に実施した「ゆうばえのみち再整備工事（その2）」現地説明会において、貴重なご意見をいただきありがとうございます。いただいたご意見について回答いたします。

1 計画案（全体）に関すること

いただいたご意見	意見に対する考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな意見が出ているので、できる限り対応してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた貴重なご意見は、参考にさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・次回の再整備のサイクルはおよそ30年先になるとのこと。地元から、この際だから小さなことも全部直してもらおうとの声があるようだ。土木として優先順位や必要性を説明する責任がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市の公園はおよそ30年のサイクルで大規模な再整備工事をおこないます。基盤に関するなどはこの機をとらえて整備していきますが、使えるものは再利用し、無駄のない整備を心がけます。なお、次の30年を見据え、長く利用でき、維持管理等で後々の負担にならないよう設えを考えていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな仕様や緑道にそぐわない奇異な仕上げが用いられることがないように、統一化がはかれるよう基準が策定されるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見は参考にさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・設計が終わったら、最終成果物（工事発注予定用設計図）を見せていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図は契約図書となるものであり、入札、契約前にこれを公表することはできませんが、説明会でのご意見をふまえた最終的な平面図は別紙のとおりです。
<ul style="list-style-type: none"> ・雨の日、雨上がり、日差しの強い炎天下、寒い冬の凍るような朝、夜の暗い時間等、様々な状況を実体験して設計に活かしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画にあたっては、現地調査や地域の皆様との意見交換等を通じて得た情報を活かしていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・設計に従事する者は工事完成後の復習を行い、ユーザーの意見を聞くなどが肝要。その意味では5月20日に開かれた意見交換会は評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一期工事の検証結果も踏まえながら、今後の工事についても進めてまいります。

2 舗装に関すること

いただいたご意見	意見に対する考え方
<p>2-1. アスファルト舗装に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存のアスファルト舗装はそれほど痛んでいないと思う。多少の段差では子どもは転ばない。アスファルト更新は不要だと思う。 ・月出松公園手前（北側）の区間の舗装は更新が不要ではないか。もともと開粒度舗装なので、時間の経過とともに表面が荒れてくるのは必然的。歩行に不便は感じない。 ・アスファルトは極度に傷んだところを部分補修すればよいのであって、30年経ったからと一律にやり直すのは杓子定規というもの。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都田公園の西側など、比較的状态の良いところでは更新をせず、そのまま利用しますが、ひび割れや根上り、表面が削れているような箇所は更新します。 ・月出松公園の北側は根上りやひび割れ、表面の劣化などがあるため更新します。
<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルトの段差は解消してほしいと、地域の人はみんな言っている。 ・アスファルトの劣化が進んだら子供が転んで危ない。 ・全面舗装してもらった方が歩きやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・劣化等により、段差になっているところは更新して解消します。一方で土舗装にも良さがあると考えており、全面舗装は予定しておりません。
<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト舗装は透水性のものがベストだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更新するアスファルト舗装は透水性です。
<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルトと土舗装面の段差解消が必要だと思う。工法は特に意見がないが、長持ちするものがベストだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段差にならないよう、平らに仕上げます。
<ul style="list-style-type: none"> ・脱色アスファルトは金額が高いから不採用とのことだが、鴨池公園でもすでに採用しているし、理由にならない。せめて黒アスファルトのところは脱色アスファルトにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する材料については景観面のほか利用形態や施工規模等に応じて判断してまいります。

<p>2-2. 土舗装に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土舗装は今のままでよいと思う。コンクリート殻が突出しているところは、並行している平らなアスファルト面を通行すれば良いのであって、マサ土による表層仕上げには賛成しない。 ・土舗装は現在のままが最適。この際というのであればコンクリート殻の除去をしてほしい。 ・土舗装にマサ土を用いることに反対。(一期工事で施工した)メゾン桜ヶ丘付近の奇異な光景は美的感覚を疑う。しかも水たまりができて雨の日はぬかるんで歩きづらい。 ・徳生公園付近(距離標 1.25~17.5 km)の土舗装仕様を推奨したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土舗装内に突出しているコンクリート殻は段差になっているため撤去します。 ・第一期工事で用いたマサ土は、もともとの砂利舗装の表面が削れたり痩せたりしているところを平らに仕上げるために表層全面に補充したものです。ダスト(砕砂)を補充する案もありましたが、比較的締まりやすいマサ土を採用しました。 ・第一期工事では好意的な評価もいただいております、今回工事ではマサ土による舗装を想定していました。しかし、今回対象箇所は面積も少ないことからご意見を踏まえて保留とし、第三期工事までに仕様を決定します。 ・仕様決定にあたっては徳生公園付近の仕様も参考にしたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・緑道の舗装は基本的に土舗装にしてほしい。緑道は歩く道。やわらかい土舗装が望ましい。車いすのために土舗装をなくすのは行き過ぎ。 ・アスファルトは必須ではなく土舗装のままでよい。バリアフリーとは子供に過保護すぎないか。危険予知対応力が低下する。 ・アスファルトのところも逆に土舗装にしてはどうか。土の上を歩きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑道は様々な人が利用しており、健常者だけでなく高齢者や、車いすの方にもより一層利用していただきたいと考えています。 現状の土舗装のところはアスファルト舗装にはしませんが、すでにアスファルト舗装されている箇所は存置、または更新します。 隣接する月出松公園などには野趣に富んだ箇所もあります。子どもたちにはこのようなところも利用してもらいたいと思います。
<p>2-3. 自然石舗装に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石舗装の整備は良いと思う。段差がないように整備してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・石の目地が開いて段差になっているところは目地を狭めて据え直します。また、目地の埋まっていないところはモルタルを充填して段差をなくします。

<ul style="list-style-type: none"> ・自然石舗装の目地にモルタルを詰めることは最小限にすべき。 ・小広場の白河石の目地が広いのは、もともと「たまり」の場所であって、歩くことが目的ではない。その点も考慮してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段差をなくすために目地はモルタル詰めします。白いモルタルが景観を損ねる場合は、モルタルに灰色の着色剤を混ぜるなど、違和感が少なくなるよう検討します。 小広場の広い目地は、経年変化で土が削れて段差が大きくなっています。つまづいて石の角でけがをした事例もあり、これは解消していきます。
<p>2-4. カラー舗装に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川和東小正門前のカラー舗装の色は注意喚起のため目立つ色（黄色やオレンジ色など）を採用したらどうか。 ・カラー舗装をするのは自転車が緑道を横切る場所のみにすべき。 ・カラー舗装は、あのグロテスクな赤はやめてもらいたい。危険を察知させるのが目的ならば、インターロッキング舗装など工夫ができるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラー化するの2か所で、いずれも自転車歩行者専用道路から合流する、見通しが悪い、スピードが出やすいなど危険性の高い箇所です。 ・カラーについては、道路等において注意喚起用に実績があるエンジ色を採用しています。 ・ただし、川和東小正門前は学校側の既存のインターロッキング舗装と合わせて、カラーインターロッキング舗装にします。配色は今後検討します。
<ul style="list-style-type: none"> ・川和東小正門前はどこが危険なのかわからない。舗装に色を付けることに反対。 	<ul style="list-style-type: none"> ・川和東小正門前は通学時間等には大勢の児童や通過する人々で錯綜しています。注意喚起のためにカラー化しますが、学校側の既存のインターロッキング舗装と合わせて、カラーインターロッキング舗装にします。
<p>2-5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舗装の両サイドの境目にガイドを入れてはどうか。（土砂流出防止） 	<ul style="list-style-type: none"> ・舗装のガイド（見切り）としてコンクリート縁石が多く使われますが、景観に配慮し、使わずに施工できる箇所であればなるべく見切りは入れないように考えています。見切りが必要な箇所は、スチールエッジなどを用い、土砂流出防止には土留め板等を設置します。

<ul style="list-style-type: none">・ 拡幅する場合は曲線的にしてほしい。波型でもカクカクしてもダメ。	<ul style="list-style-type: none">・ 一部、拡幅する箇所がありますが、既存の園路線形と調和するよう曲線的にする予定です。
---	---

3 樹木に関すること

いただいたご意見	意見に対する考え方
<p>3-1. 樹木全般に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後のために木の伐採を実行してほしい。 ・ 暗くて心配。伐採してくれるならありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の状況を見ながら、シイなどの常緑樹が過密化して薄暗くなっている箇所を中心に間伐（間引き）します。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹木の伐採はしてほしくない。住宅が隠れるからむしろ補植してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹木はすでに過密化している箇所が多く、また隣接する住宅にお住いの方々も様々なご意見があるため、原則として補植はしない予定です。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹高と樹間は一期工事後の声を十分に生かす。限られた空間なので高さは低め、間隔は広めで2～3年後を目標にしては。 ・ 間伐、剪定する樹木の剪定は基本的な考えや方針を持っているか？ 一期工事ではばらつきが気になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一期工事では、毎木調査を行ったうえで伐採や剪定を行いました。しかし、残した樹木についても過密化によってすでに樹形が損なわれているものもありました。そこで、今回工事ではより慎重に伐採や剪定を行いたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ モッコクの大木など樹形の良いものは常緑樹であっても残す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑道の中には、樹形の良い樹木がいくつか見受けられます。このようなものはできる限り残していきます。
<p>3-2. 特定の箇所の樹木に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都田公園側の樹木は整理、剪定する。そのかわり学校側はサクラ以外伐採し、中低木にする。 ・ 園路が狭いからと言ってサクラを伐採することには反対。樹木があるから汚い校舎が隠れる。（川和東小学校と都田公園の間） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の状況を見ながら、常緑樹（シイ、カシ等）を中心に間伐（間引き）します。残った樹木も必要に応じて剪定します。園路の学校側についても同様に、状況を見ながら判断します。 またこの区間で幅員が狭くなっている箇所はできれば拡幅をしたい箇所ではありますが、今回工事では保留し、第三期工事で利用状況を確認の上、対応するかどうかが決定します。

<ul style="list-style-type: none"> ・都田公園の角の高木は伐採しないでほしい。中木の伐採や高木の下枝を処理すれば見通しは確保できる。 ・都田公園沿いの角地（川和歩道橋前）樹木は伐採し、キンモクセイ、レッドロビンに合わせて高さを抑え、見通しをよくする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高木は下枝の剪定をすることとどめ、残します。実生と思われる中木は伐採、低木は刈り込んで見通しを確保します。
<ul style="list-style-type: none"> ・都田公園沿いの生け垣（レッドロビン、マサキ）は上部をカットし眺望を優先する。 ・石のベンチのある箇所は、住宅のない方の樹木を剪定し、眺望を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆうばえのみちの名のとおり、夕やけのきれいな箇所です。周辺住宅に影響のない範囲で、一部眺望できる箇所を設けたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・斜面地にマツの補植をし、松林の景観を取り戻す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もともとマツが多く植えられていた場所でしたが、毎年数本ずつ枯れていく状態が続いています。松くい虫による被害と思われ、補植しても同じ結果となる可能性が高く、補植は難しいと考えます。

4 排水に関すること

いただいたご意見	意見に対する考え方
・排水不良で土のたまっているところのU字溝の設置は良いと思う。	・一部箇所にU字溝を設置し、水たまり、ぬかるみを解消します。
・U字溝は蓋付きとする。途中にグレーチング蓋を挟んで雨水を導く。	・既存のU字溝はすでに蓋がけがしてあります。水がたまっているところを調べ、必要に応じて交換します。
・現在あるU字溝は後から追加したのではないか。デザインが良くない。	・ご意見参考にさせていただきます。

5 その他施設に関すること

いただいたご意見	意見に対する考え方
<p>5-1. ベンチに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベンチの設置は良いと思う。増設を希望する。 ・ベンチを設置するなら築山を眺められるような配置にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・川和東小沿いの小広場にベンチを設置します。築山を眺められるスペースがあるので、そこ設置する予定です
<p>5-2. 手すりに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階段の手すり（デザイン手すりを残し、同じデザインのを増設すること）の説明について、よく理解できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の手すりは現在の基準に合っていないが、デザインに優れ、利用者に親しまれています。そこで、基準に適合するよう改修した上で残置します。新設する場合は同様の仕様で複製します。
<p>5-3. 土留めに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路肩の整備は土留めと低木を補植する。 ・緑道と低木の境の土留めは今後の対応を含めて土砂の流れ対策を考える。 ・一部、土留め板が途切れているところはつなぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・斜面がきつく、縁石が転げ落ちているところは土留めをした上で、補修します。低木の補植については個別に検討します。ゆるやかな斜面は樹木の間伐、剪定等で地面に光を入れて、草を生やすことで土の流れを防止します。なお一部土留め板のない箇所があるので、継ぎ足しをします。
<p>5-4. 照明灯に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明灯の間隔が極端に狭いところが一か所あるが、うち1本は円筒型が望まれる。なお、逆富士山型は目にまぶしいので工夫が必要。 	<p>一期工事では従来の逆三角形の灯具を、コンパクトなLED灯に交換しました。今回の区間もそれに倣います。</p> <p>ただし、川和歩道橋前や夕月野地区に下る階段の広い箇所などは360°全方向型を取り付けます。</p>

<p>5-6. 車止めに関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車止めの配置は奥だけでなく、手前にも配置した方がより効果は高まる。 ・都田公園の角から月出松公園に向かうところの車止めは場所をずらすと、脇のすり抜けもしにくくなるし、照明灯の直下になるのでよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・川和歩道橋から緑道に入る箇所、および川和富士公園から小広場に入る箇所について、ご提案の配置を取り入れたいと思います。
<p>5-7. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川和東小正門前の設えは、校舎外観とセットで、市と協議して進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎の塗り替えなどは、土木事務所で管理しているものではなく困難です。 舗装等は一体感のあるしつらえになるよう努めてまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・都田公園駐車場からの階段は汚らしい。使われていないなら撤去してほしい。 ・(上記を受けて) グランドゴルフの時などに使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・塗装については関係部署に伝えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・デザインのためなら立面図を含めて説明すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の参考にさせていただきます。

6 自転車と歩行者の安全に関すること

いただいたご意見	意見に対する考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・路面標示のシールは間隔を広くしてほしい。 ・仮に自転車推奨ルートにシールを貼るにしても、第一期工事で採用したカラーを継続すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一期工事と同様の色のシールを7m内外の間隔で設置します。 <ul style="list-style-type: none"> なお、当初はシール間隔を4m内外と定め、一部箇所では実証実験をおこないましたが、アンケート調査で「間隔が狭い」「デザインを改善しては」とのご意見を多数いただきました。これを受け、間隔は7m内外とすることとし、またデザイン、色はダークグリーンに変更しています。
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車減速のための車止めは間隔を拡げ、個数を増やしたほうが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす等の通行を妨げない範囲で、その箇所ごとに適した配置を考えていきます。 <ul style="list-style-type: none"> なお、「横浜市福祉のまちづくり条例」による基準では、車止めの間隔は90cm以上とすることとなっていますが、二列目を交互に配置する場合は、奥行きもこの間隔にすると車いす等の通行に支障があることがわかりましたので、第二期工事以降では配慮していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・押し歩き区間は川和東小学校の正門前だけでなく川和中学校のほうまで範囲を広げるべき。 ・短い区間を押し歩き区間に指定しても、わざわざ押し歩きする人は少ない。仲町台北西側の例（せきれいのみちで実証実験を行った箇所）をみても明らか。 ・小広場（信号のあるところ）から川和東小正門、あるいは川和歩道橋まで、押し歩き区間でよいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・押し歩き区間は見直し、川和東小学校に沿った箇所まで拡げます。（信号のある小広場から川和中学校の手前まで）